



山口市議会 会務公開 議員 市川陽子 公明党

令和3年度予算について

問 一般会計は前年度比3・3%、7億5600万円の増で、238億5600万円が計上されています。コロナ禍において、21%減のシーリング目標を掲げていますが、どの点に配慮したのか伺います。

答 財政課長 財政調整基金の繰入額を大幅に増額するとともに、歳出の削減を図り、義務的経費等を除いた調整が可能な経費について削減目標額を設定し、各事業の優先度や緊急性、費用対効果の検証を行い、市民生活への影響に配慮し予算編成しました。

行政施策について

問 公共施設マネジメント基本方針に、「個々の施設の今後40年間の方向性を検討する」とありますが、その狙いについて伺います。

答 財政課長 計画期間の考え方としては、現在、築20年以上の建物が全体の7割であり、建築から60年経過後を目安に建て替えを行うことを考慮し、40年としました。

問 公共施設個別施設計画の狙いについて伺います。

答 財政課長 計画等の策定に当たり、今後の公共施設のあるべき姿が見えたことやロードマップを示すことで、計画的な再配置を進め、財政的にも大きな効果が上げられると考えます。

問 計画等の推進に本腰を入れるには、専門的な方を配置すべきと考えます。市ファシリティ・マネジメント戦略会議の役割および取り組みについて伺います。

答 財政課長 戦略会議は、市長を会長とし、副市長、教育長、各部長で構成され、施策の実施判断と推進に関する重要事項の政策決定等を行います。検討委員会は、施設を所管する各課長等で構成され、事業の優先順位の検討や大規模修繕等に係る予算の調整等を行います。

新型コロナウイルス感染症対策について

問 新型コロナウイルススワクチン接種体制について伺います。

答 保健福祉部長 集団接種と

個別接種を併用する予定であり、現在、さんむ医療センターや山武郡市医師会と調整を図っています。

また、市外のかかりつけ医での接種を希望する場合は、医師に確認し、接種が可能であれば、医療機関または市町村に申し込むこととなります。

問 クーポン券送付時の対応について伺います。

答 保健福祉部長 接種場所、予約方法、注意事項等の案内と、2回分の予診票を同封し郵送します。

1回目の接種予約をし、接種終了後に、2回目の予約を行います。

問 障害者や寝たきりの方の対応について伺います。

答 保健福祉部長 まずは主治医にご相談いただきたいと思えます。個々の状況に応じた対応は、今後、医療機関等と調整を図っていきます。

問 高齢者福祉施設等での接種時は、職員も入所者と一緒に接種できるように、計画に盛り込んではいかがでしょうか伺います。

答 保健福祉部長 施設内のクラスター対策の推進のため、できるだけ同じタイミングで行うよう、調整していきます。

問 自殺予防対策として、相談窓口の強化と啓発を進めるべきと思いますが、どうですか。

答 保健福祉部長 国の交付金を活用し、生活就労相談室の事務員の増員を図るとともに、ひきこもり支援として、SNSやビデオ通話等で、当事者同士をつなぐ居場所づくりを行う予定です。

認知症予防対策について

問 日本老年医学会の調査によると、コロナ禍での外出自粛等の影響により認知症が悪化したという報告があります。コロナ禍においては、症状に応じた工夫が必要だと思えますが、市の取組について伺います。

答 保健福祉部長 認知症への啓発活動として、外出自粛に伴う認知機能および身体機能への影響を減らすための日常生活のポイントを踏まえた講演会と映画上映を、令和2年12月11日に開催しました。

問 認知症の方々が継続して介護サービスを受けられるための取組について伺います。

答 保健福祉部長 PCR検査等の費用の助成を行うと共に、安定した介護サービスが提供されるよう、介護事業所を側面から支援し、感染予防に努めたいと考えます。

